

# 門真市水道事業ビジョン（改定版）（案）の概要

## ○門真市水道事業ビジョンとは？

門真市の水道について、目指す方向性と理想像を明らかにするとともに、具体的な実現方策を定めた計画です。

今の門真市水道事業ビジョンは、平成29（2017）年3月に策定した計画で、計画期間は令和8（2026）年度までの10年間です。

令和3（2021）年度は、計画期間の中間年度である5年目を迎えたことから、総合的な中間見直しを行い、「門真市水道事業ビジョン（改定版）」として策定を進めています。

## ○改定のポイント

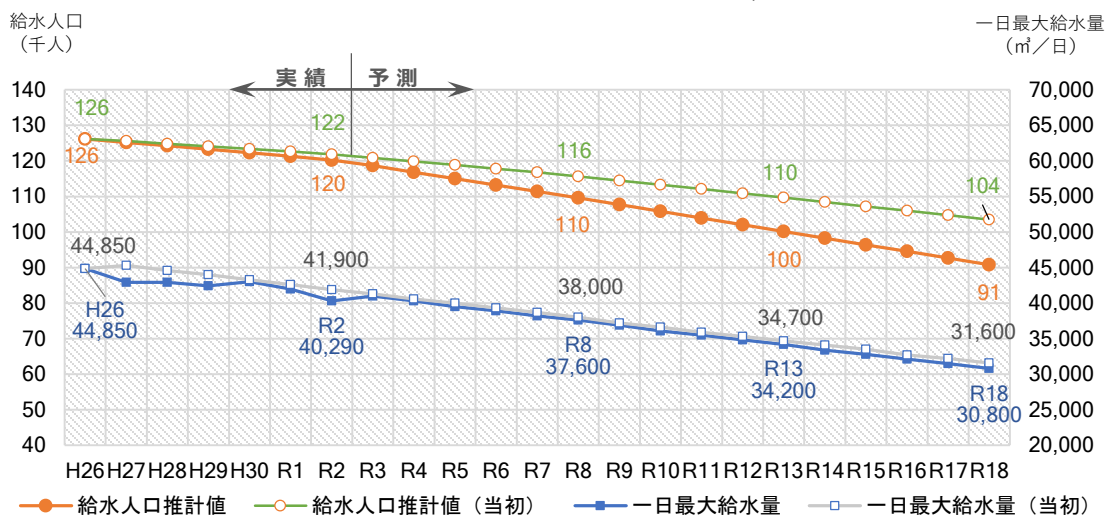
### ○水需要予測や財政計画を見直し（31～33ページ、58～70ページ）

推計人口の更新とこれに伴う水需要予測を行ったうえで、令和3（2021）年1月に実施した水道料金の減額改定、泉町浄水場の更新に関する事業費等を反映した財政計画の見直しを行っています。

#### 《水需要予測について》

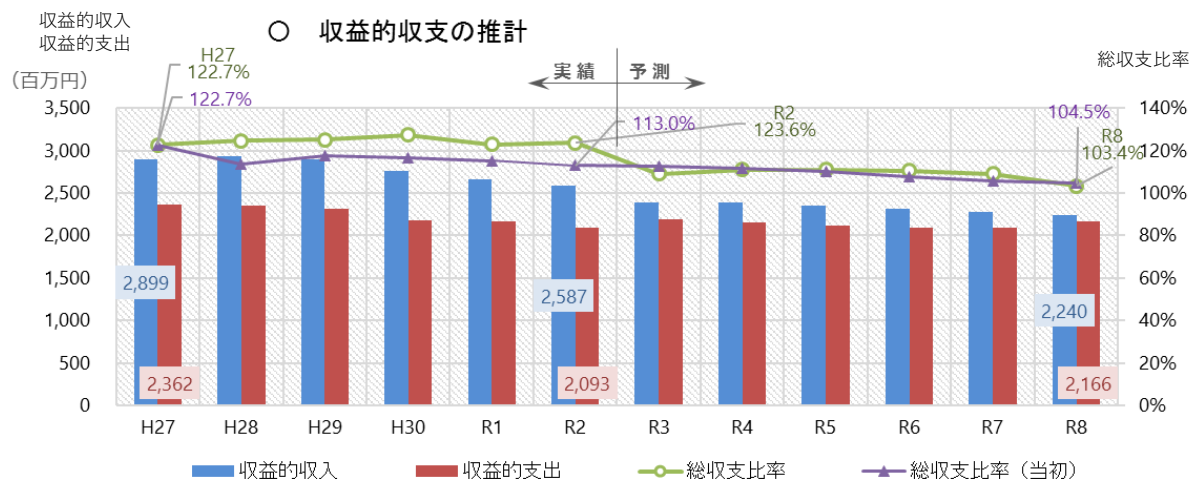
- ・ 今回の推計人口（給水人口）は、当初推計に比べて減少幅が大きくなっており、人口減少が進んでいます。
- ・ 一方で、一人当たりの使用水量は、当初推計に比べて減少幅が緩やかになっており、一日最大給水量の推計は当初推計に比べて同水準となっています。

○給水人口と一日最大給水量の推計



## 《財政計画について》

- ・水道料金の減額改定に伴い、令和8（2026）年度までの計画期間全体で当初財政計画よりも約12億円の減収が見込まれるものの、計画期間全体における総収支比率は、100%以上の水準を確保できる見込みです。
- ・泉町浄水場更新工事に伴う工事事業費が増加の見込みであり、資本的支出が当初の財政計画推計よりも増加する見通しです。



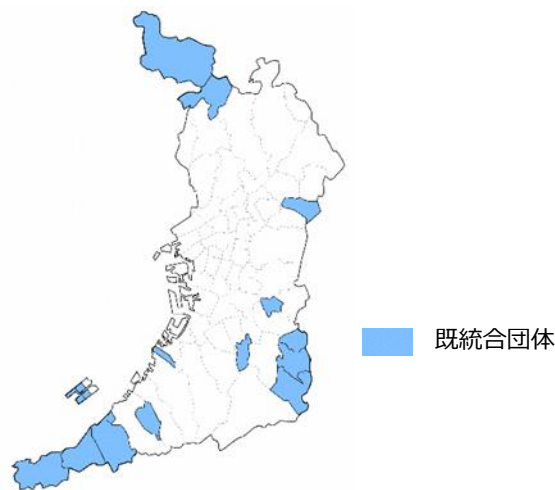
## ○ 「広域連携」に関する項目の新設 (37ページ)

現在、「水道の基盤の強化」として、大阪広域水道企業団（※）と市町村水道事業との統合（経営の一体化）が進められています。

今回の中間見直しにおいて、新たに「広域連携」に関する項目を設定し、国・大阪府等の動向を踏まえ、本市水道事業としての動向、広域連携を検討することの必要性を記載しています。

（※）大阪府の水道用水供給事業及び工業用水道事業を承継し、大阪市を除く府内42市町村が構成団体となって設立された組織  
（平成23（2011）年設立）

大阪広域水道企業団との統合の状況  
（令和3（2021）年4月現在）



注）能勢町は令和6（2024）年事業開始予定

## ○ 「目標設定と推進する実現方策」の見直し (39～46ページ)

これまでの進捗状況を踏まえ、「具体的な実現方策」等の内容を見直しています。

### 【主な見直し内容】

- ・大阪広域水道企業団との統合等、広域連携に関する検討を追加
- ・配水池耐震化事業の実施について、耐震化率が目標を達成した旨の表記を追加